

Second Quarter



— 医学生が “貧困” について考える —

10月9日(日)～10日(月祝) in 伊東ホテル聚楽

学 習 企 画

『路上生活者精神保健調査を通して見えたもの (仮)』

講師：渡辺貴博医師（岐阜・みどり病院）

地域の支援団体、研究者とともに取り組まれた2015年11月に実施された「名古屋路上生活者精神保健調査」。調査の中で見えてきたものは、対象者の中に精神疾患を抱える当事者の多さ、彼らが制度の狭間で障害を理解されないまま路上に留まらざるを得なくなっている状況など様々です。今なおつづく取り組みや今後の展望、医師として関わって来られた想いをお話いただきます。

研 修 企 画

『民医連の研修で感じた自分の変化 (仮)』

講師：徳竹雅之医師（青森・健生病院 後期研修医）太田正文医師（同 指導医）

救急研修の中で舞い込む、「家はゴミ屋敷で患者もかなり汚染しています。これから掘り出します。」そんな要請に慣れた様子で救急車を受け入れ、医療行為にとどまらない日常生活を医事できる体制づくりへの支援に取り組む民医連の現場で研修を重ね、大学時代から変わってきた価値観や患者に接する際に意識するようになったことなど、研修医の先生にお話いただきます。



— お問い合わせ先 —

山口県民主医療機関連（略称：山口民医連） Tel：0836-35-9355 / Mail：yamaguchi.miniren2@gmail.com